

ゼリットカプセル 15 ゼリットカプセル 20

【この薬は？】

販売名	ゼリットカプセル 15 ZERIT CAPSULES 15	ゼリットカプセル 20 ZERIT CAPSULES 20
一般名	サニルブジン (d 4 T) sanilvudine	
含有量 (1カプセル中)	15mg	20mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗ウイルス剤（ヌクレオシド系逆転写酵素阻害剤）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、H I V（ヒト免疫不全ウイルス）の逆転写酵素を阻害してウイルスの増殖をおさえます。
- ・次の病気の人に処方されます。
 - ・ **H I V-1 感染症**
- ・この薬は、他に適切な治療法がない場合のみに他の抗H I V剤と併用され、使用はできる限り短期間とされます。
- ・この薬を、自己判断で使用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化

したり薬が効きにくくなるおそれがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬を飲んだ人で、ギラン・バレー症候群(両足の末端から上部に向かう知覚まひおよび運動まひ、だるさ、歩行障害や息苦しさ)のような症状があらわれ、中には死亡にいたった例も報告されています。多くの場合こうした症状は、乳酸アシドーシス(全身のだるさ、吐き気、嘔吐(おうと)、腹痛、急激な体重減少、呼吸が速くなる、息苦しさ、手足の力が抜ける、歩行障害)の後にあらわれます。このような症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
- この薬を飲んだ人で、末梢神経障害(手足のしびれ、刺すような痛み、うずくような痛み)があらわれることがあります。【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】に書かれていることに特に注意してください。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にゼリットカプセルに含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- 次の人は、原則として、この薬を使用することはできません。
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・末梢神経障害(手足のしびれ、刺すような痛み、うずくような痛み)の人、または過去に末梢神経障害があった人
 - ・肝臓に障害がある人
 - ・腎臓に障害がある人
 - ・膵炎(激しい腹痛、腰や背中での痛み、発熱、吐き気、嘔吐)の人、または過去に膵炎になったことがある人
 - ・高齢の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。特に腎臓に障害がある人においては慎重に飲む量が決められます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

体重	60kg 未満	60kg 以上
販売名	ゼリットカプセル 15	ゼリットカプセル 20
一回量	2カプセル	2カプセル
飲む回数	1日2回12時間毎	1日2回12時間毎

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合には一回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

末梢神経障害（手足のしびれ、刺すような痛み、うずくような痛み）、肝機能障害（皮膚が黄色くなる、嘔吐、白目が黄色くなる、尿が黄色い、吐き気、食欲不振、かゆみ、からだがだるい）の症状があらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれたら、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬は、患者さんやそれに代わる適切な人が次の点について十分に理解できるまで説明を受け、同意してから使用が開始されます。
 - ・この薬はH I V感染症を根本的に治すものではありません。この薬を飲んでいても、病気が進行する可能性がありますので、身体状況の変化は全て医師に報告してください。
 - ・乳酸アシドーシス（全身のだるさ、吐き気、嘔吐、腹痛、急激な体重減少、呼吸が速くなる、息苦しさ、手足の力が抜ける、歩行障害）、脂肪沈着による重い肝腫大（吐き気、嘔吐、皮膚や結膜などが黄色くなる）があらわれた場合には、直ちに医師に報告してください。特に妊婦においては、海外でジダノシンという薬剤と併用したときに死亡した例も報告されています。
 - ・末梢神経障害（手足のしびれ・刺すような痛み・うずくようないたみ）があらわれることがあります。その発症は、飲む量に関係すると考えられていますので、決められた飲む量を守ってください。また、このような症状があらわれたら、医師に連絡してください。
 - ・重篤な膵炎（激しい腹痛、腰や背中での痛み、発熱、吐き気、嘔吐）があらわれることがありますので、症状があらわれた場合は、医師の指示に従ってください。この薬の使用中は、定期的に血液検査が行われ、症状があらわれた場合に画像診断が行われることがあります。
 - ・この薬を含めて、H I V感染症の薬によって体の脂肪の分布が変化し、顔や手足がやせたり、おなかのまわりが大きくなったりすることがあります。また、この薬を長く飲んだ場合、これらの症状の発現リスクが上昇することが報告されています。
- ・この薬を含めて、H I V感染症の薬を飲み始めた後、免疫力が回復し、日和見感染などに対する炎症反応（発熱、下痢など）があらわれたり悪化したりする

ことがあります。

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

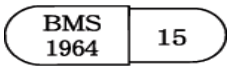
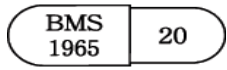
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
乳酸アシドーシス にゅうさんアシドーシス	全身のだるさ、吐き気、嘔吐、腹痛、急激な体重減少、呼吸が速くなる、息苦しさ、手足の力が抜ける、歩行障害
末梢神経障害 まつしょうしんけいしょうがい	手足のしびれ、刺すような痛み、うずくような痛み
膵炎 すいえん	激しい腹痛、腰や背中での痛み、発熱、吐き気、嘔吐
急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	尿量が減る、顔や手足のむくみ、頭痛、全身のだるさ、食欲不振、吐き気
錯乱 さくらん	考えがまとまらない、時間・場所・周囲の状態が分からない
失神 しっしん	気を失う
痙攣 けいれん	けいれん
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (ステーブンス・ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血、めやに、まぶたの腫れ、目が開けづらい、くちびるや陰部のただれ、排尿・排便時の痛み、のどの痛み、皮膚の広い範囲が赤くなる
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだのだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
肝不全 かんふぜん	食欲不振、全身のだるさ、吐き気、嘔吐、腹部の張る感じ、皮膚や結膜などが黄色くなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	全身のだるさ、急激な体重減少、刺すような痛み、うずくような痛み、発熱、けいれん、からだのだるい
頭部	頭痛、考えがまとまらない、時間・場所・周囲の状態が分からない、気を失う
顔面	顔のむくみ
眼	目の充血、めやに、まぶたの腫れ、目が開けづらい、結膜が黄色くなる、白目が黄色くなる
口や喉	吐き気、嘔吐、くちびるのただれ、のどの痛み
胸部	呼吸が速くなる、息苦しさ、吐き気
腹部	腹痛、激しい腹痛、食欲不振、腹部の張る感じ、吐き気
背中	腰や背中での痛み
手・足	手足の力が抜ける、手足のしびれ、手足のむくみ、歩行障害
皮膚	皮膚の広い範囲が赤くなる、皮膚が黄色くなる、かゆみ
尿	尿量が減る、排尿・排便時の痛み、尿の色が濃くなる
その他	陰部のただれ

【この薬の形は？】

販売名	ゼリットカプセル 15	ゼリットカプセル 20
形状	 硬カプセル	 硬カプセル
長径	15.7mm	17.2mm
短径	5.8mm	6.3mm
重さ	0.23g	0.34g
色	ボディ：黄色、キャップ：褐色	淡褐色
識別コード	BMS1964	BMS1965

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ゼリットカプセル 15	ゼリットカプセル 20
有効成分	サニルブジン	
添加物	結晶セルロース、無水乳糖、乳糖水和物、カルボキシメチルスターチナトリウム及びステアリン酸マグネシウム、カプセル本体にゼラチン及びラウリル硫酸ナトリウム	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

(<http://www.bms.co.jp>)

メディカル情報部

電話：0120-093-507

受付時間：9：00～17：30

（土、日、祝日並びに当社休日を除く）